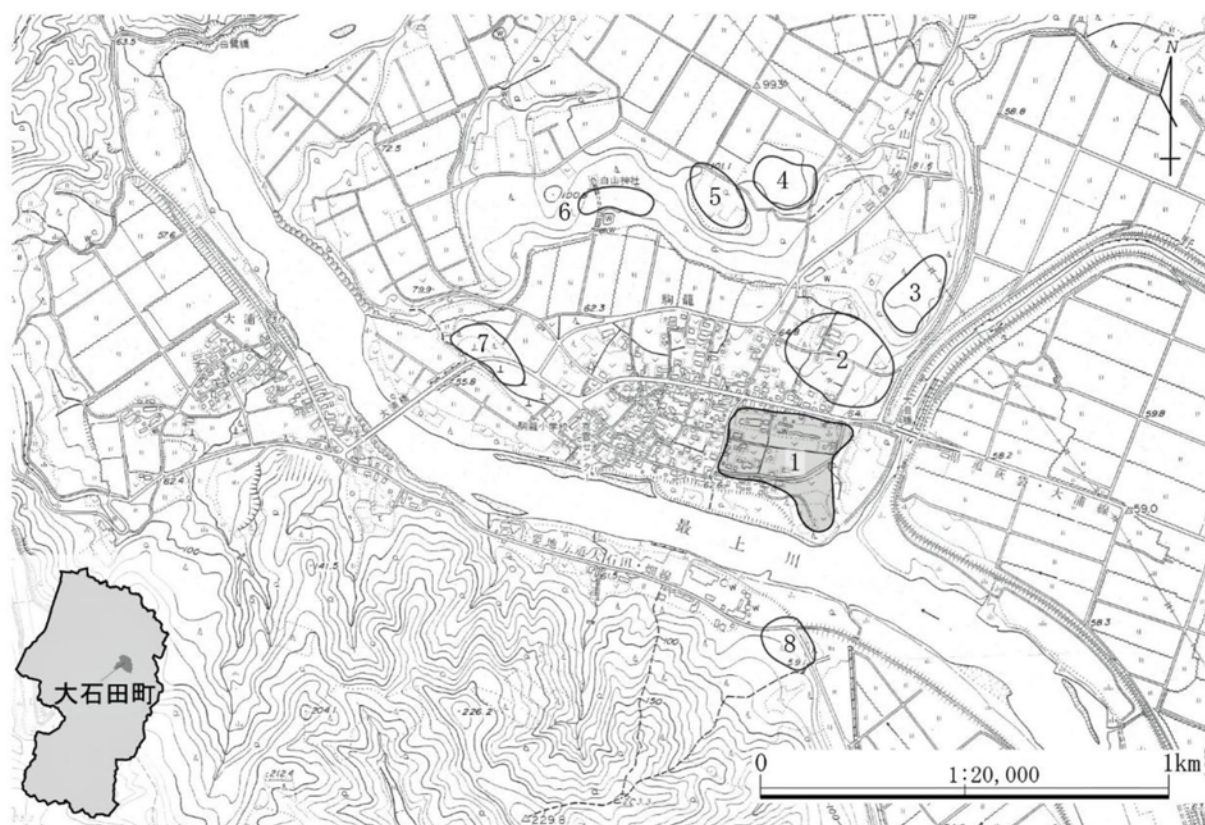


駒籠楯跡第 17 次発掘調査説明会資料

調査要項

遺跡名	駒籠楯跡（古代東山道野後駅推定地）
所在地	山形県北村山郡大石田町駒籠
時代・種別	縄文時代集落跡、奈良・平安時代の地方官衙跡（駅家：水駅）
起回事業等	『令和3年度国重要文化財等保存整備国庫補助事業』『令和3年度駒籠楯跡発掘調査』
調査機関	大石田町教育委員会
現地調査	令和3年10月4日～令和3年10月25日 説明会：令和3年10月23日（土）
調査面積	約 400 m ²
調査担当者	阿部明彦（日本考古学協会会員・山形考古学会会長） 海藤直行・大谷俊継（大石田町教育委員会教育文化課）
調査指導	山形県観光文化スポーツ部文化振興文化財課
調査協力	（公財）山形県埋蔵文化財センター・大石田町立歴史民俗資料館・大石田町駒籠地区
検出遺構	掘立柱建物跡、竪穴建物跡、土壇、溝跡など
出土遺物	縄文土器・石器、須恵器・土師器、鉄製品など



1. 駒籠楯跡 2. イカゴの上遺跡 3. イカゴ東遺跡 4. 駒籠B（駒籠北）遺跡
5. 駒籠A遺跡 6. 白山塚群 7. 駒籠墳墓群 8. 駒籠向遺跡

第1図 駒籠楯跡位置図（大石田町作成地図に加筆）

1 調査概要

駒籠楯跡は、大石田町の北西部に位置する駒籠集落の南東部に所在し、野尻川と最上川の合流点近くの右岸側に立地します。標高は約66mで、周囲よりは一段高い水害の恐れがない高台となっています。

遺跡地はかねてより「延喜式」に記載された古代の駅家（うまや）「野後駅」ではないかと注目され（新野直吉1963）、町の教育委員会でも古代の遺構や遺物の存在を確かめる目的から、1998・1999年の二カ年にわたって当該地区一帯の試掘調査を行っています。その結果、「土井ノ前」地区を中心とする駒籠楯跡の内部に古代の遺構や遺物が濃密に分布していることが明らかとなりました。こうして始まった駒籠楯跡（推定野後駅）の発掘調査は通算で17次を迎えています。今年度の調査目的は駒籠楯I期に属する竪穴建物の規模や時期を探ること、また、駒籠II期に関



調査区の位置（西側上空から）



重機による表土除去状況（南東から）

わる南北軸の建物跡について規模・時期等の検討を進める手掛かりを得ること等を目的としています。

2 検出遺構・遺物

見つかった遺構には、超大型の竪穴建物1棟（南北9.7m×東西8.7m）を含む竪穴4棟、駒籠楯II期の時期（9世紀代）で、1間×5間規模（南北棟）、長舎となる掘立柱建物跡2棟（重複）、溝跡1条、土壇複数基（縄文期）などがあり、遺物では須恵器・土師器、縄文土器・石器等が出土しました。

3 まとめ

今回の調査では、駒籠楯I期に関わる大型建物跡の全形が検出でき、建物に関わる須恵器等の知見も得ることができました。また、軸を同じくする中小規模の竪穴が見つかったことも成果として特筆されます。最後になりましたが、調査にご協力いただきました関係機関他の各位にお礼申し上げます。



調査区全景（南西から）



大型竪穴建物跡検出状況（北西から）